

(学校名) バンコク日本人学校**学校・周辺環境****【学校について】**

児童生徒数: 小学部2119名、中学部512名、合計 2631名

職員数: 182名

4月始まりの3学期制です。

現在、世界で一番大きな日本人学校です。グラウンドが2面あり、50mプールがあります。

【設立からの流れ】

1926年(大正15年)盤谷日本尋常小学校として設立、児童数16名

1956年(昭和31年)在タイ日本国大使館附属日本語講習会として再開、児童数28名

2018年(平成30年)泰日協会学校(バンコク日本人学校)、児童生徒数2631名

**【授業の様子】**

校訓「明るく なかよく たくましく」。子供たちがグローバル人材に育つよう、「日本人としての自覚」「どこの国の人もコミュニケーションがとれる人」「自分で考え、判断し、正しく行動できる人」「自国のことだけでなく、世界のことも考えられる人」を目指した授業に取り組んでいます。今年度の重点施策である「プロジェクトEFG」は以下のような内容です。

「E」 English＝英会話授業の強化充実、ESDの推進、Edu-PORT＝日本型教育の発信

「F」 Freedom & Fun＝自由でのびのび楽しい学校

「G」 Global＝グローバル人材の育成

**【主な行事】**

1学期: 入学式、小5臨海学校(チャーム)、小6修学旅行(チェンマイ)

2学期: 中学部合唱コンクール、中学部体育祭、小学部運動会(写真)

3学期: 中2修学旅行(シンガポール)、卒業式

【特色ある学校行事】

- 1 小学部音楽集会: 2千名を超える児童の元気な歌声が中庭に響き渡ります。
- 2 English Day: ネイティブの教員の指導の下、丸1日英語だけを使って活動します。
- 3 日系企業(トヨタ、JAL等)の協力を得て、職場体験学習や講演会を実施しています。
- 4 バンコク大学見学: 映画スタジオなどもあるバンコク大学の構内を見学します。

**【現地理解教育・国際交流】**

全学年で現地校との交流学習を実施し、相互に相手校を訪問して交流を深めています。

・小学部1、2年生: カサセート大学附属小

・小学部3年生: ダラカーム小学校

・小学部4、5年生: シーナカリン大学附属小

・小学部6年生: メーゲットノイ小(チェンマイ修学旅行時)

・中学部1年生: チュラロンコン大学附属中

・中学部2年生: シンガポールの大学生と英会話による市内見学(シンガポール修学旅行時)

また、社会科学等で現地理解を深めています。

※写真は中学部1年生の現地理解学習「アユタヤ校外学習」

生活環境**【住居】**

住居は学校が用意する外国人向けのマンションです。タイでは「アパート」と呼ばれています。出入口には警備員が常駐し、居住者の安全が確保されています。1LDK、家具付きで大型家電等も設置されているため、最低限の身の回りのものがあれば生活できます。

【通勤】

月額2000バーツの通勤手当が支給されます。学校付近には公共交通機関がありませんので、タクシー通勤となります。片道20分程度の距離です。

※写真はエカマイ地区にある学校採用者が住んでいる住居の外観

**【周辺の病院】**

周辺には日本人が多く居住しており、日本語が通じる病院があります。医療水準は大変高く、日本と比べても遜色ありません。

【周辺の飲食店やスーパー】

周辺には1食400円でお腹一杯に食べることができる大衆的な飲食店から、高級でおしゃれなカフェまで数多くあります。日本のラーメン店や定食屋もあり、スーパーでは日本食も売っています。大変生活しやすい環境です。

【その他】

BTS(スカイトレイン)の沿線には伊勢丹や東急をはじめ大型ショッピングモールが数多くあり、買い物に不便はありません。タイ独特の格安のショッピングエリアもあり、買物天国です。



【物価】

現在、1バーツ3、4円です。タクシーの初乗り運賃は140円、公共バスは30円、BTS(スカイトレイン)や地下鉄は一駅60円、一日券は480円です。交通機関はどれも日本より安く移動できますし、食費も安く済みます。

【休日】

ショッピング、食事、スポーツ(ダイビング、ゴルフ等)、マッサージやエステ等、タイのゆったりとした時間の中で充実した休日を楽しむことができます。

【現地独自の文化】

仏教国ですので、街のいたるところにお寺があり、早朝には托鉢僧に出会えます。田舎に行けば一面の田園風景の中で「本物のタイ」が満喫できます。

応募者へのメッセージ

校長より

1 歴史と伝統、児童生徒数も世界一のバンコク日本人学校 世界中には89校の日本人学校があります。そこで、学ぶ小中学生は約2万人、その13%の児童生徒が本校で学んでいます。本校は、1926年(大正15年)設立、1956年(昭和31年)に再開という世界で一番古い歴史と伝統のある日本人学校です。また、児童生徒数は2631名という世界一の規模を誇る日本人学校です。

2 東南アジアの大都市バンコクでチャレンジ 本校の子供たちは将来のグローバル人材として大いに期待される存在です。歴史と規模だけではなく、実力でも世界一を目指して、日本全国から集まった情熱あふれる教員が日々切磋琢磨して腕を磨いている学校です。職員数約200名というエキサイティングな職場で、思う存分実力を伸ばし、自分自身もグローバルな人材となってほしいと願っています。

学校採用教員より

1 旅人から社会人へ 学生時代、ダイビングの資格をとった私は何度もタイへ旅行に来ていました。熱気溢れるバンコクの街、美しい島々の海、微笑みで迎えてくれるタイの人々。たった数回の旅行で私はタイが大好きになりました。その頃、同世代の乃木坂46がタイの観光大使としてCMをしていたり、BNKの大久保美織さんが活躍しているニュースを見たりして、卒業したら「今度は自分も社会人として価値ある仕事がしてみたい」と思うようになりました。

2 バンコクで教壇に立つ 大学4年生の春、構内で見かけたポスターに釘付けとなりました。「これは、私だ!」と迷わずにバンコク日本人学校の学校採用へ応募しました。現在、職員室の先輩方の優しい指導を受けたり、同期の仲間のサポートを受けたりして、毎日子供たちと勉強に運動に取り組んでいます。「先生、先生!」と笑顔で飛び込んでくるたくさんの子供たちと会う毎日が、旅人だった私を社会人へと成長させてくれました。